

 平成22年度

川崎区区民会議フォーラム

次第

日時 平成23年3月6日（日）午後2時～午後4時

場所 川崎区役所7階 会議室

主催 川崎区区民会議

司会・進行：川崎区区民会議副委員長 荒井 敬八

1 開 会

○委員長あいさつ：川崎区区民会議委員長 魚津 利興

2 落語の上演

出演：喜楽亭 笑吉

平成12年清流亭いしあたま（さいわい寄席主宰）に入門
平成22年社会人落語日本一決定戦ファイナリスト

3 川崎区区民会議の歩み

4 パネルディスカッション・意見交換

○コーディネーター 佐谷 和江氏

前 川崎市自治推進委員会副委員長
まちづくりコーディネーター（株）計画技術研究所代表取締役

○パネリスト

川崎区区民会議高齢者部会長	星川 孝宜
高齢者部会	猪熊 俊夫
子ども部会長	朴 栄子
子ども部会	深澤 香織
環境部会長	木島 千栄
環境部会	藤岡 玲子

5 閉 会

○川崎区区民会議副委員長 島田 潤二

第3期川崎区区民会議委員名簿

別紙1

任期：平成22年4月1日から平成24年3月31日まで

50音順、敬称略

氏名	推薦団体・分野など		専門部会			
			幹	高	子	環
あらい けいはち 荒井 敬八	川崎区文化協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野	○			
いしわた かつろう 石渡 勝朗	川崎区保護司会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
いのくま としお 猪熊 俊夫	かわさきタウンマネージメント 機関運営協議会	⑤産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野		○		
うおつ としおき 魚津 利興	川崎商工会議所	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題 企業市民に関する分野	○			
きじま ちえ 木島 千栄	公募		○			○
こいずみ ただゆき 小泉 忠之	川崎区民生委員児童委員協議会	③子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野			○	
しまだ じゅんじ 島田 潤二	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	①防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野	○			
すずき しん 鈴木 真	川崎区医師会（社団法人 川崎市医師会）	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
たなべ とみお 田辺 富夫	川崎区まちづくりクラブ	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
とみた よりと 富田 順人	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野		○		
ながしま とおる 長島 亨	川崎区連合町内会	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野				○
ぱく よんじゃ 朴 栄子	川崎市ふれあい館（社会福祉法人 青丘社）	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題 多文化共生に関する分野	○		○	
はた たくじ 秦 琢二	川崎区PTA協議会	③子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野				○
はら のりお 原 紀夫	財団法人 川崎市老人クラブ連合会	区長推薦		○		
ふかさわ かおり 深澤 香織	すくすくかわさきっ子	区長推薦			○	
ふじおか れいこ 藤岡 玲子	川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会	④緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野				○
ほしかわ たかよし 星川 孝宜	公募		○	○		
みやざき とみこ 宮崎 とみ子	公募				○	
よしの ちさお 吉野 智佐雄	特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野		○		
わしず たかし 鷲頭 多加志	公募					○

※専門部会欄の幹は幹事会、高は高齢者部会、子は子ども部会、環は環境部会

川崎区区民会議参与名簿

五十音順・敬称略

【市議会議員】

氏名	所属会派
いづか まさよし 飯塚 正良	民主党
いわさき よしゆき 岩崎 善幸	公明党
こばやし きみこ 小林 貴美子	公明党
さかもと しげる 坂本 茂	自民党
さの よしあき 佐野 仁昭	共産党
しまざき よしお 嶋崎 嘉夫	自民党
にし じょうじ 西 譲治	民主党
はまだ まさとし 浜田 昌利	公明党
はやし ひろみ 林 浩美	自民党
みやはら はるお 宮原 春夫	共産党

【県議会議員】

氏名	所属会派
すぎやま のぶお 杉山 信雄	自民党

市議会議員10人、県議会議員1人、合計11人

事務局(区役所職員)一覧

役職	氏名
区長	きむら みのる 木村 実
副区長	おさない みゆき 小山内 美幸
企画課長	かねこ ひろみ 金子 浩美

川崎区区民会議の歩み

これまでの主な提案と現在の取り組み状況

区民会議って何を議論してきたんだろう・・・

これから、これまでの区民会議の提案と、現在の状況について説明します。

区民会議とは・・・



川崎市

区民の皆さんが中心とな
って、参加と協働により、
地域の課題解決を図るた
めに調査審議する会議で
す。

これまでの区民会議審議テーマ（第1期）

	審議テーマ	課題解決策（抜粋）	実施主体
平成18年度	「区のイメージアップ」	・まちを花で飾る	商店街、海風の森をMAZUつくる会、地域教育会議、学校、区役所
		・わかりやすいサインの新設	まちづくりクラブ・区役所
	「次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援」	・地域見守り看板の設置	町内会・区民・区役所
		・「こども安全の日」の新設	安全・安心まちづくり推進協議会・区役所
平成19年度	「地域コミュニティの充実」	・シニアが参加しやすいイベントの開催	区民・関係団体・区役所
		・外国人市民のための防災マップの作成	区役所

これまでの区民会議審議テーマ（第2期）

	審議テーマ	課題解決策（抜粋）	実施主体
平成20・21年度	「手をつなごう、地域のつながり」	・シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催	NPO法人かわさき歴史ガイド協会・区役所
		・防災訓練への外国人市民や障害者などの参加促進	町内会・PTA・学校・区役所
	「地球環境とエコ」	・公共施設の緑化推進	海風の森をMAZUつくる会・区内公共施設
		・環境エコ期間の設定	町内会・商店街・区民団体・区役所

まちを花で飾る ～第1期の取組から～



平成19年7月に行われたアメリカンフットボールW杯の観客を温かく迎える目的でプランターを作成し、商店街の協力でまちを花で飾りました。

まちを花で飾る ～現在の区の実施状況～

今も様々な場所が、花で飾られています



↑ 東田公園 田島支所 →

シニアが参加しやすいイベントの開催 ～第1・2期の取組から～

← 平成20年6月 臨海部から地域活動を考えるツアー

まずは、地元を知ること・楽しむことから



平成21年11月 かわさき再発見！旧東海道川崎宿ウォーキングツアー

シニア世代の地域活動参加を応援することを目的に始めました。



シニアが参加しやすいイベントの開催 ～現在の区の取組状況～



平成22年12月 “おやじ”
の代表が語る講演会と史跡探索
ツアー

終了後、参加者か
ら団体への加入希
望がありました



“おやじ”の代表 大下氏の講演 →

公共施設の緑化推進 ～第2期の取組から～



公共施設の緑化推進のため、市役所第3庁
舎に“緑のトンネル”を作り、平成21年
8月「環境の広場展」を開催しました。

公共施設の緑化推進
～現在の区の実施状況～

田島支所緑のカーテン

市役所第3庁舎の緑のトンネルの下で環境に関する紙芝居ができました。

大師支所緑のカーテン

平成22年8月「環境の広場展」



第3期区民会議スタートにあたって (課題の把握方法)

・的確な地域課題の把握を目的に、審議開始前に、平成21年11月に実施した区民アンケートの結果を委員へ配布。

・そのうえで、各委員が日頃の生活や活動を通して感じている課題について提案。

第3期区民会議の審議テーマ

第3期

平成22年から第3期区民会議がスタートし、地域の実情に合った課題の解決に向けて調査審議が進められています。

※第3期区民会議は、川崎・宮前区は平成22年4月から、幸・中原・高津・多摩・麻生区は7月からスタートしています。

川崎区

高齢者・子ども・環境の3部会を設置し、「高齢者に優しいまちづくり」「元気な子どもが育つまちづくり」「みんなが住みたい川崎区」をテーマに調査審議しています。



今年度の審議スケジュールについて

- ❖ これまでに3回の全体会議を開催
 - ❖ 各専門部会を7回ずつ、合計21回開催
- ↓
- ❖ 地域の課題解決策を議論し、実施方針を作成

この後、詳しく御紹介いたします。

第3期川崎区区民会議 の審議経過

高齢者部会、子ども部会、環境部会
の方針や取り組みについて

川崎区区民会議

高齢者部会の取り組み

資料3 参照

審議テーマ

「高齢者に優しいまちづくり」

審議課題

「高齢者に対する環境づくり」

「生きがい、社会貢献」

課題解決策

「高齢者向けのウォーキングマップ作成、
地域の散策」

「コミュニティバスの導入」



子ども部会の取り組み

審議テーマ

資料4 参照

「元気な子どもが育つまちづくり」

審議課題

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

「子どもの健康を考える」

「世代間交流による子育て」

課題解決策

「地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり」

「こころの居場所づくり・不登校支援」

「自由に思いきり遊べる場所づくり」

「健康推進に関する取組」

「世代間が交流する場の拡充」



環境部会の取り組み

資料5・6 参照

審議テーマ

「みんなが住みたい川崎区」

審議課題

「地域緑化」

「区民の環境意識向上」

「区のイメージアップ」

課題解決策

「環境意識向上ポスター作成継続・拡充」

「“区の花”制定」



高齢者部会 実施方針

対応する審議課題	生きがい、社会貢献／高齢者に対する環境づくり		高齢者に対する環境づくり	
課題解決策	★高齢者向けのウォーキングマップ作成、地域の散策		★コミュニティバスの導入	
解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を散策、ウォーキングするためのマップを作成する(川崎区作成「ウォーキングガイドブック」の改訂を想定)。 ・モデルコースを選定し、当コースについて、車道と歩道の段差等の危険箇所やトイレ・ベンチの有無や必要性を調査する。これらの作業方針や作業内容を提言する。 ・コースについては複数設定する。 前提：高齢者が気軽にウォーキングできるようなコース コース例：地区別に設定(中央・大師・田島) テーマ別に設定(「俳句の句碑巡り」「古民家巡り」などなるべく具体的に) ・全てのコースについて、マップ上には、危険箇所やベンチ・トイレの設置状況など記載し、高齢者が安全かつ安心して散歩することができるようにする。 ・ウォーキングマップ完成(ウォーキングガイドブック改訂)時にPRを兼ねて、散策・ウォーキングのイベントを実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が外出しやすい環境づくりを目的としたルートを前提とする。 ・富士見地区を中心として、川崎駅周辺の回遊性を向上させる。 ・川崎駅西口・東口終点のバスをそれぞれ反対側まで延長させる。 ・マイクロバスのような車種でも可。 ・コミュニティバス導入について区民アンケート調査を実施する。 	
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (モデルコースの調査、ウォーキングガイドブック改訂版の編集・監修、散策イベントの企画) □ 区民 () ■ 市民団体 (イベントでの伝統や文化を継承する案内役) ■ 行政 (ウォーキングガイドブック改訂版の編集・作成、イベントの準備サポート) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (コミュニティバス導入の調査・審議) □ 区民 () □ 市民団体 () ■ 行政 (コミュニティバス導入に関するアンケート) 	
解決に向けた取組スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルコースの選定 ・モデルコースの調査・審議 ・モデルコース以外のコース設定 ・ウォーキングガイドブック改訂版の編集・監修 ・散策イベントの準備・実施 ・区役所関係課との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ～22年度 ～23年度上期 ～23年度上期 23年度下期～ 23年度下期～ ～23年度 	<ul style="list-style-type: none"> ・TMO(かわさきタウンマネジメント機関運営協議会)から調査結果に関する資料提供 ・コミュニティバス導入に関する調査・審議(導入目的・利用形態の方向性を固める) ・コミュニティバス導入に関する勉強会・ヒアリング ・コミュニティバス導入事例の視察 ・コミュニティバス導入に関する区民アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ～22年度 ～23年度 ～23年度上期 ～23年度上期 23年度下期～
実施場所	・川崎区内各所		・川崎駅東西口・富士見地区・市立病院方面 ・小田地区～大師地区などの区内横断ルート	
実施目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ安心して外出することができる環境を整備する。 ・地域や世代間の交流を通じて、高齢者が生きがいを持てる地域をつくる。 ・散策を通じて、高齢者の健康づくりにつなげる。 		・足腰の弱い高齢者も外出しやすい環境を整備する。	
当解決策における最終的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップの作成 ・地域の文化や伝統が継承されていく仕組みをつくる。 		・コミュニティバスの導入	

対応する審議課題	地域での子育て、子どもの居場所づくり			
課題解決策	★地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり	★こころの居場所づくり・不登校支援		★自由に思いきり遊べる場所づくり
解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人(特に高齢者)が集う場所に子育て中の母親が気兼ねなく訪れることのできるような仕組みをつくる。 ・出会う場所では、母親が地域の人に子育ての悩みを伝えたり(単に話を聞いてくれるだけでも可)、地域の人子どもと一緒に昔遊びをするなど、各自が自由に時間を過ごす。 ・町内会館、子育てサロン、地域の縁側、こども文化センター、老人いこいの家など、様々な場所を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校やゆうゆう広場にも通うことのできない児童・生徒が通うことのできる居場所をつくる。 ・まず委員が不登校の実態を知ることから始める必要があるため、こどもサポート旭町の運営状況を確認したり、不登校に関する講義を受ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由にボールを投げたり蹴ったり、思いきり騒いで走り回ったりすることのできる公園をつくる(プレーパークや緑地公園など)。 ・個人でも体育館を利用することができるようにする。
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (団体等への協力依頼) ■ 区民 (出会う場所への参加・協力) ■ 市民団体 (出会う場所への参加・協力) ■ 行政 (行政関連部署との調整、出会う場所開催に関する調整) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (こころの居場所、不登校に関する審議・調査) □ 区民 () □ 市民団体 () ■ 行政 (こどもサポート旭町との調整) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (遊べる場所に関する審議・調査) □ 区民 () □ 市民団体 () ■ 行政 (地域教育会議との連携、アンケート調査)
解決に向けた取組スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・出会う場所づくりの事業概要(事業方針、連携する事業、開催場所・回数、運営体制等)について審議・調査 ~23年度 ・介護予防事業(健康福祉局)、地域の縁側(地域保健福祉課)、町内会、子育て支援センター(こども支援室)に関する勉強会 ~23年度上期 ・運営に協力してくれる団体・区民(使用できる場所、出会う場所に集ってくれる地域の人)の確保や調整 23年度下期~ ・出会う場所開催に関する調整(スケジュール、役割分担等) 23年度下期~ ・地域の人と子育て中の親が出会う場所の開設 24年度 	<ul style="list-style-type: none"> ・「フリースペースえん」の視察 ~22年度 ・不登校に関する講義の受講等による、こころの問題や不登校に関する知識の習得 ~23年度 ・こころの居場所づくり、不登校支援、しつけと虐待の線引きに関する審議 ~23年度 ・こどもサポート旭町運営スタッフへのヒアリング(子どもが居ない時にするなどの配慮が必要) ~23年度上期 	<ul style="list-style-type: none"> ・「川崎市子ども夢パーク」の視察 ~22年度 ・自由に思いきり遊べる場所づくりに関する審議 ~23年度 ・地域教育会議の活動状況を確認 ~23年度上期 ・思いきり遊べる場所に関するアンケート調査 23年度下期~ 	
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎区内各所(場所は固定せず、使用できる会場を積極的に活用する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもサポート旭町 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の体育館 ・公園については、子どもが自分たちで遊びに行くことが可能な場所が望ましい
実施目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子どもを育てる環境をつくる。 ・母親にとっては育児の労力や悩み軽減、高齢者にとっては生きがいを持つ環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子どもの支援。 ・こころの問題を抱える子どもを受け入れることのできる地域・仕組みをつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが子供らしく自由に思いきり遊べる環境をつくる。 ・自由に遊べる場所を確保することによって、非行に走りづらい環境をつくる。
当解決策における最終的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局を立ち上げ、活動が自立・定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもサポート旭町のあり方の検討。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体育館を一般開放する。 ・プレーパークもしくは緑地公園をつくる。もしくは既存の公園をそのように活用できる仕組みをつくる。

子ども部会 実施方針(2)

対応する審議課題	子どもの健康を考える	世代間交流による子育て	
課題解決策	★健康推進に関する取組	★世代間が交流する場の拡充	
<p>解決策の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種(MRワクチン・子宮頸がんなど)、喫煙、食育の問題などについて出前講座を実施する。 ・まずはモデル校に実施し、検証した上で区内全域に展開していく。 ・出前講座を受講した生徒を中心に、その後、啓発ポスターや標語の作成コンクールを開催する。 ・上記事業の対象は中学生とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが地域内の高齢者施設や障害者施設などを訪問する。 ・高齢者や障害者との交流手段のひとつとして、カローリングを活用する。 ・子ども、高齢者、障害者が一堂に会したカローリング大会を開催する。 		
<p>主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (モデル校への依頼、事業概要の審議) □ 区民 () ■ 市民団体 (出前講座の講師、町内会:ポスターの場合、掲示協力) ■ 行政 (学校や町内会への協力依頼) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (施設への協力依頼、交流試合・大会開催準備) □ 区民 () ■ 市民団体 (高齢者・障害者施設:交流試合・大会への出席等) ■ 行政 (用具・会場予約など交流試合・大会開催準備のサポート) 		
<p>解決に向けた取組スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校(4校程度)への依頼 ~22年度 ・モデル校での実施について調整(講義内容・日程・講師など) ~23年度 ・モデル校での出前講座実施 ~23年度 ・モデル校での出前講座の検証、区内全域への展開方法に関する審議 ~23年度 ・啓発ポスターや標語の作成コンクールの事業概要に関する審議 ~23年度 	<ul style="list-style-type: none"> ・カローリングの更なる拡充 随時 ・カローリング交流試合・大会開催概要(対戦チーム、開催場所等)の審議 ~23年度上期 ・高齢者施設や障害者施設への呼びかけ ~23年度上期 ・カローリング交流試合開催(子ども同士、子どもと高齢者、子どもと障害者など) ~23年度 ・子ども、高齢者、障害者が一堂に会した大会の開催 23年度下期~ 		
<p>実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座:区内中学校(3~4校/年) ・啓発ポスター:区内町内会掲示板 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設、障害者施設、こども文化センター 		
<p>実施目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち自身に健康の重要性を認識してもらう。 ・長期的には、子どもたちが親になった時に、自分たちの子どもに健康の重要性を伝えることができように成長する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの世代であっても顔見知りの環境をつくり、地域全体で子どもを見守ることができるようになる。 		
<p>当解決策における最終的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年を目途に各中学校で1回ずつ実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する高齢者施設と障害者施設で交流試合を実施する。 ・子ども、高齢者、障害者が一堂に会した大会を実施する。 		

対応する審議課題	地域緑化、区民の環境意識向上		地域緑化、区民の意識向上、区のイメージアップ	
課題解決策	★環境意識向上ポスター作成継続・拡充		★「区の花」制定	
<p>解決策の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに環境に関する絵を描いてもらい、選考委員会にて最優秀作品・優秀作品を選出する。 ・絵はアゼリア地下街や環境の広場展等に展示し、その後、最優秀作品についてはポスター化して町内会掲示板に掲示する。 ・(最)優秀作品に選ばれた子どもを「子ども環境大臣(または大使)」に任命し、環境啓発の一助を担ってもらう。 			<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)区の花制定委員会を立ち上げ、区の花を制定する。 ・区制40周年にあたる2012年(平成24年)に制定する。 ・候補の花は、広く公募で区民に呼び掛ける。 	
<p>主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (事業概要の調査・審議) ■ 区民 (子ども:ポスター作成、子ども環境大臣) ■ 市民団体 (町内会:掲示板へのポスター掲示) ■ 行政 (関係機関・団体等への協力依頼) 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民会議 (募集概要の調査・審議、制定委員会メンバーへの参加) ■ 区民 (区の花への応募) ■ 市民団体 (制定委員会メンバーへの参加) ■ 行政 (制定委員会設置要綱の設置、区の花公募) 	
<p>解決に向けた取組スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会を通じて学校へ協力依頼 ・拡充内容、子ども環境大臣の活用方法等といった事業概要の調査・審議 ・展示場所の新規開拓 ・ポスター選考委員会 ・子ども環境大臣を活用した啓発活動 	<p>～22年度</p> <p>～23年度上期</p> <p>～23年度上期</p> <p>23年7月</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)区の花制定委員会の立ち上げ、メンバー選考 ・区の花制定の目的、公募方法の確認 公募媒体・手法・対象範囲、設問内容等決定。応募要領作成 ・区の花公募開始 ・区の花活用方法の検討 ・区の花制定 	<p>～22年度</p> <p>～23年度上期</p> <p>23年度下期～</p> <p>23年度下期～</p> <p>24年4月</p>
<p>実施場所</p>	<p>・これまで実施している、区役所、大師・田島支所、アゼリアに加え、展示場所の拡充を検討 (例:各地区大型商業施設など)</p>		<p>・川崎区内</p>	
<p>実施目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの絵・ポスターを通じて、子どもだけでなく大人も含めて環境の意識を向上させる。 ・環境意識の高まりにより、地域の緑化が促進される。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化の推進 ・区の花を考えることにより、環境や自然について意識を高める。 ・花や緑がまちに溢れ、区のイメージアップにつながる。 	
<p>当解決策における最終的な目標</p>	<p>・環境ポスターが地域に浸透する(⇒次のステップに移行する)。</p>		<p>・区の花を制定することにより、まちは花や緑で溢れ、区のイメージが向上される。そして区民の環境に対する意識が高まる。</p>	

課題	解決策	目的	誰が	何を	いつ(までに)												その他
					H23. 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
地域緑化 区民の意識向上 区のイメージアップ	「区の花」 制定	・地域緑化の推進 ・区の花を考えたことにより、環境や自然について意識を高める ・花や緑がまちに溢れ、区のイメージアップにつながる	環境部会	(仮称)区の花制定委員会の立上げ準備(委員構成や委員会設置要綱案作成等)	→												・環境部会委員、区民団体に所属している人、花や環境に関する知識を有する人など、幅広く選出
				花全般に関する勉強会・調査	→												
				区民会議「『区の花』制定」について区へ提案	→												
			(仮称)区の花制定委員会	「区の花」活用方法の検討	→				→								・今後活用する区の花のデザインやキャッチフレーズの作成や、区の花のPR方法などについて審議
				区の花公募に関する内容の調査・審議(区の花の公募内容・方法、選考など)	→				→								
			川崎区	区の花(最終候補)決定	→				→								・区制40周年記念事業として区の花を制定する ・環境部会からの提言を受け、事業化を通じて課題解決に取り組む
				(仮称)区の花制定委員会設置要綱	→												
				区の花公募	→				→								
				区の花制定・発表	→				→								